

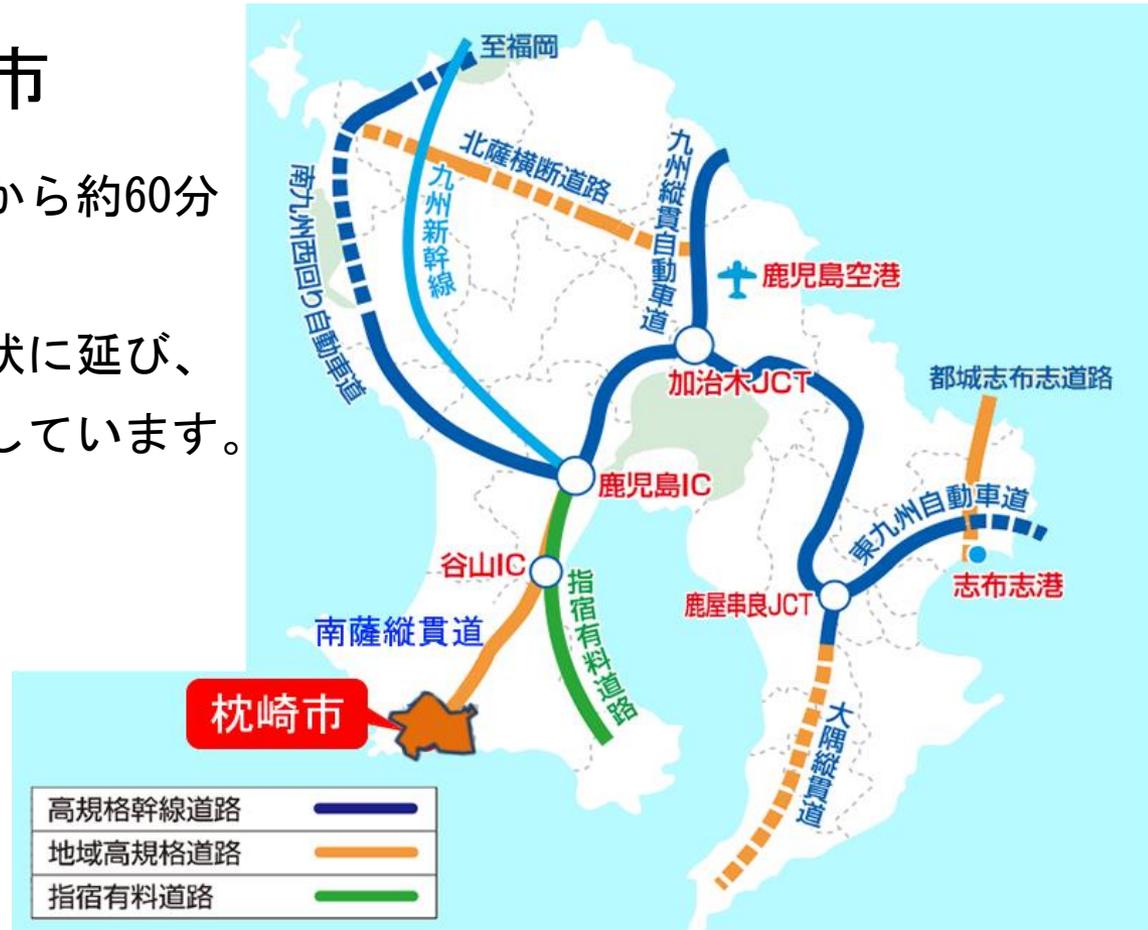


火之神保有地の 利活用について

太陽と鯉のまち
枕崎市

太陽とかつおのまち 鹿児島県枕崎市

- ・ 鹿児島中央駅及び鹿児島 I C から約60分
- ・ 鹿児島空港から約90分
- ・ 国道や地域高規格道路が放射状に延び、高速道路や鹿児島市等と結節しています。
- ・ 特定第三種漁港
⇒水産・海外物流拠点
- ・ J R 指宿枕崎線「枕崎駅」
- ・ 市内に県立高校 2 校
枕崎高校、鹿児島水産高校



特定第三種漁港
年間水揚げ量は約10万t
伝統的なカツオ漁



鰹節生產量日本一

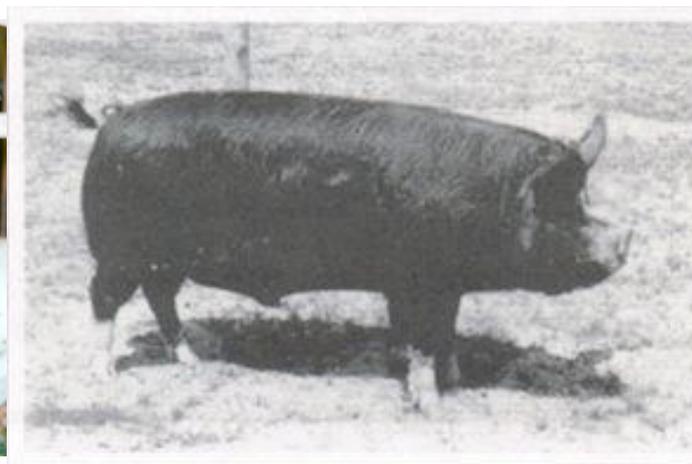


枕崎ブランドの豊富な食材を使ったグルメ



豊かな農業・畜産業
茶、サツマイモ、
ブランド牛「枕崎牛」
電照菊・・・etc

鹿児島焼酎
「さつま白波」



枕崎ブランドの豊富な食材を使ったグルメ



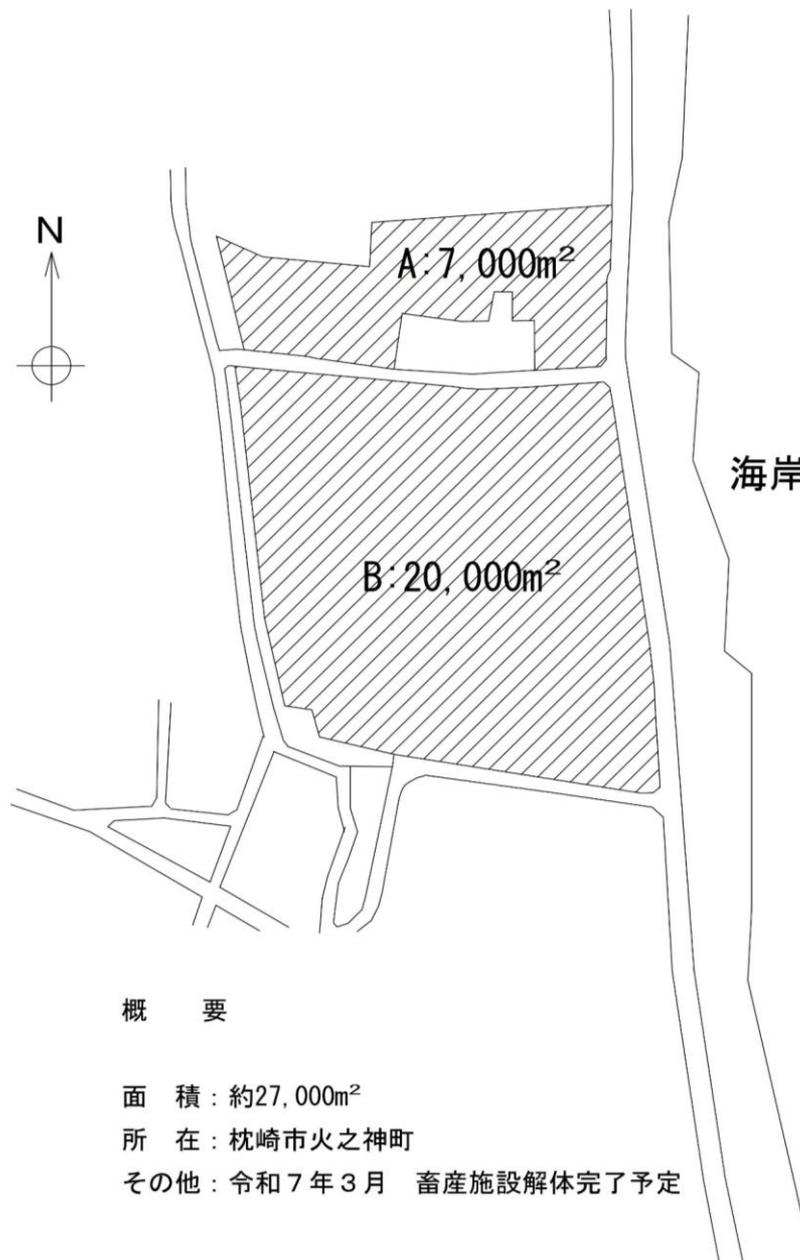
人がわき立つ人情のまち



火之神市有地について



火之神地区畜産施設跡地の概要について



概 要

面 積：約27,000m²

所 在：枕崎市火之神町

その他：令和7年3月 畜産施設解体完了予定



火之神地区畜産施設跡地

解体前



解体後



周辺ロケーション



火之神保有地周辺環境

【火之神公園】
多くのキャンプ客が集う自然公園



火之神保有地周辺環境

【観光施設】

「枕崎お魚センター」や「かつお公社」などがあり、レストランやお土産、体験型観光メニューを展開している。



火之神保有地活用検討の経緯

【令和4(2022)年度】

- ・ 養豚場跡地の土地と建物を市が取得
- ・ 将来的な利活用ビジョン検討(職員・市民WS)

【令和5(2023)年度】

- ・ 養豚場跡地における既存建物の解体工事を開始

枕崎市地域の魅力創出事業

概要版：WS参加者作成

火之神地区当該土地の利活用に関する基本構想

枕崎市では「地域の魅力創出事業」として、市が選定する市職員（20名程度）及びまちづくりに関心のある市民（10名程度）をメンバーに5グループに分かれ、全5回のワークショップを実施し、枕崎市南西部に位置する火之神地区一帯の利活用についての基本構想策定に向けて取り組みました。

対象エリアは、枕崎市の一大景勝地である火之神公園へのアクセス道路に面しており、今後、有効的な活用を図ることで、近年のキャンプ客の増加などで賑わう火之神公園との相乗効果も見込まれ、市民の憩いの場、市外からの多くの誘客が図られる場になり得るなど、地域の活性化と関係人口の創出・拡大につながる、様々な地域課題の解決に向けた大きなポテンシャルを秘めているものと考えられます。

この図表は一連のワークショップから導き出されたものを概要版としてまとめたものです。

枕崎市の活性化につながる3つの柱

枕崎市の強み・弱み・機会・脅威の事象を分析し、進むべき3つの柱として整理しました。

①かつお節を中心とした食のブランド化

本市が誇る食文化をかつお節を軸とした「ブランド」として再構築し、産業の更なる発展を目指します。

②枕崎市のエリアデザイン

火之神エリアを含む市全体のデザイン(空間整備)をすることで、人の流れの創出を目指します。

③人とのつながりの醸成

まちづくりのマインドを持つ人材の育成、まちの担い手をつくり、人材と人材をつなぐことで、まちの活性化を目指します。

導き出した火之神エリアの5つの可能性

1. 食を中心に賑う、人と食の交流拠点

海が見えるオープンキッチンを整備し、調理の様子、食事、ロケーションを楽しめる空間に。地場製品の生産現場から調理、食事までが楽しめるツアーが展開され、一流のシェフが食の文化や技術を学び、シェフの卵が育つ食の聖地へ。



2. 新たな可能性を創出するクリエイティブエリア



ポップアップストアやイベントを通じて、枕崎の食がワンストップで味わえる施設「**カッコ**」(cacco)。事業のスタートアップの後押しや新しい層の誘客を促し、火之神を中心に人の循環を創出することで、枕崎全域に波及効果をもたらす。

3. 海が見える総合公園

芝生が広がる総合公園を整備。海が見えるロケーションの中、屋外広場と屋根付き広場でランニングやスポーツ、ピクニック等を楽しむことができる。健康づくりやイベントもできる複合施設として市内外からの誘客を促進する。



4. 景観を生かしたみんなが集まれる日常と少し距離を置いた空間



イベントスペース、火之神公園と差別化したキャンプ場、アスレチック、カフェがあり、森林浴もできる空間に。すべてのエリアを1m高上げすることで、道路や堤防という日常の視点を外す。海が見える景観を生かし、人々の憩いの場として非日常的なエリアを構築する。

5. ロケーションを武器にした海楽ゾーン

憩いの場となる散歩道と広場を整備。非日常空間を創出するために木々による目隠しなどを施す。季節を感じる草木のある空間と、官民が連携してイベントなどを開催し、非日常を演出し続ける空間を作り出すことで、海岸沿いに連なる火之神エリアへの誘客を促進する。



【令和6(2024)年度】

- ・ 民間資金等活用事業調査を実施
(枕崎市地域の魅力創出検討事業支援業務委託)

調査の目的

地域活性化と地域課題の解決に向けたポテンシャルを秘めていると考えられること、先行して実施した検討結果の将来ビジョンを踏まえ、民間活力の活用手法の導入可能性に向けた検討・調査を実施。

業務の内容

- ① 前提条件の整理
- ② 市民・関係機関の意向調査
 - ・ 市民等のニーズ調査
 - ・ 関係団体、民間企業等への意向調査
 - ・ トライアルサウンディングの実施
- ③ 官民連携導入可能性調査
 - ・ 導入機能と条件の検討
 - ・ 事業実施方針の検討
 - ・ ロードマップの作成
- ④ 事業推進体制の構築支援
- ⑤ 事業実施方針の策定

基本構想の策定

今後のスケジュールについては調整中です。
個別の現地説明、サウンディングのご要望、
その他ご質問等は下記までお問い合わせください。

部 署 : 枕崎市役所企画調整課
住 所 : 〒898-8501 枕崎市千代田町27
連絡先 : 0993-76-1088 (直通)
seisaku@city.makurazaki.lg.jp

参考: 火之神保有地の利活用に関するアンケート結果について
<https://www.city.makurazaki.lg.jp/soshiki/kikaku/25438.html>